



企画展 与謝野寛・晶子 夫妻の旅

パノラマ地図でたどる観光名所

吉田初三郎「函館市鳥瞰図」原画(部分) 堺市博物館蔵

令和3年11月20日[土]～令和4年1月23日[日]

【休館日】第3火曜日(12月21日、1月18日) 年末年始(12月29日～1月3日)
 【開館時間】午前9時～午後6時(最終入館午後5時30分) 【会場】さかい利晶の杜 企画展示室
 【観覧料】(一般)300円 (高校生)200円 (小中学生)100円 「千利休茶の館」や「与謝野寛子記念館」の観覧券で企画展示室にも入場いただけます。

さかい利晶の杜
Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

主催：堺市 協力：与謝野晶子倶楽部



別府海地獄での記念写真
(右から4人目が晶子、となり
が寛、2人の前の和装の男
性が吉田初三郎)
江見水庵
「北海道と九州」の口絵より
個人蔵

与謝野寛・晶子夫妻は、生涯にわたり数多くの旅に出ました。
 寛58歳、晶子53歳の昭和6(1931)年は、夫妻で旅した回数が多い年でした。本展では、同年の北海道・九州・四国の旅に注目し、夫妻が訪れた昭和初期の観光名所をたどります。5月の北海道の旅は、講演会や懇話会に招かれ函館や旭川をめぐっており、また函館は亡き石川啄木を偲んでの旅でもありました。
 10月の九州の旅は、「別府観光の父」油屋熊八に手のひらの大きさを競う大掌大会の賓客として招かれたものでした。与謝野夫妻は、パノラマ地図作成者として著名な吉田初三郎や東京の文士らとともに、別府のイベントを盛り上げました。海地獄での記念写真には、夫妻の前に吉田初三郎が写っています。
 10-11月の四国の旅は、各地で印象的な講演を行い、多忙なスケジュールのなかで四国の名所を訪ねています。夫妻がめぐった昭和の観光名所を、夫妻が詠んだ歌と当時の景色を描いた吉田初三郎のパノラマ地図等によって紹介し、当時の観光文化についても言及いたします。
 今日、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行動を制約されている皆さまに、与謝野夫妻の旅をたどること、展覧会を通してささやかな旅気分を感じていただければと思います。

寛・晶子歌×吉田初三郎パノラマ地図＝さかい利晶の杜で旅気分!

なつかしき 函館に来て 手に撫ぶる 七き啄木の 草稿の塵 (晶子)

○記念講演会 「与謝野夫妻の北海道紀行と石川啄木」

講師：与謝野晶子倶楽部会長 天理大学名誉教授 太田登氏
 日時：令和3年12月5日(日) 午後2時～午後3時30分
 会場：さかい利晶の杜 講堂
 参加費：無料 ※展示観覧券が必要です
 定員：先着20名

○学芸員による展示解説
 日時：令和3年11月27日(土) 午後2時～(20分程度)
 会場：さかい利晶の杜 企画展示室
 参加費：無料 ※展示観覧券が必要
 定員：先着10名

いずれも11月1日(月)より申込み開始
 必要事項(氏名・ご連絡先)を明記の上、さかい利晶の杜へ電話・FAX・メール・来館にてお申込み下さい。

問い合わせ・申込み先
さかい利晶の杜
 Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

T590-0958 堺市堺区宿院町西2丁1-1
 TEL.072-260-4386 FAX.072-260-4725
 event@sakai-rishonomori.com

さかい利晶の杜 検索
<https://www.sakai-rishonomori.com>

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容が変更になる場合があります。

与謝野寛・晶子
夫妻の旅
パノラマ地図でたどる観光名所



日本人で20番目に大きい!?
初公開資料
油屋熊八手形色紙
個人蔵

